

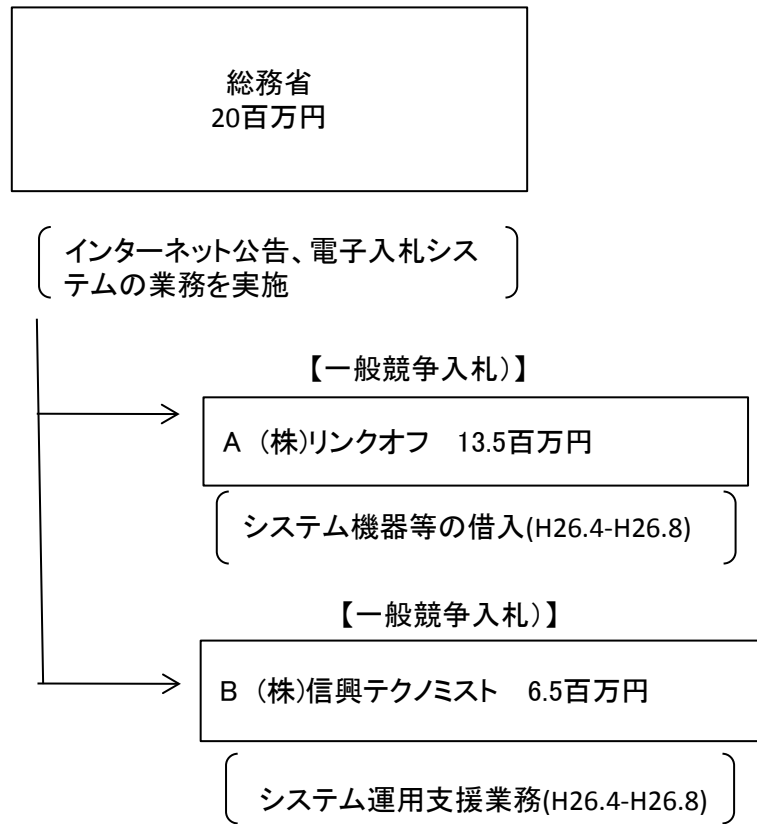
平成27年度行政事業レビューシート(総務省)

事業名	電子入札システム運用事業			担当部局庁	大臣官房会計課		作成責任者	
事業開始年度	平成14年度	事業終了(予定)年度	平成26年度	担当課室	大臣官房会計課		企画官 笠木 繁樹	
会計区分	一般会計			政策・施策名	IV 電子政府・電子自治体の推進			
根拠法令(具体的な条項も記載)	総務省組織令第23条			関係する計画、通知等	第38回各府省情報化統括責任者(CIO)連絡会議(平成21年8月28日)により「調達業務の業務・システム最適化計画について」(決定)			
主要政策・施策	IT戦略			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	電子政府の実現に向けて、電子入札システムにより、入札公告、入札、契約等の手続きについて電子化を図り、国内外企業の負担軽減、入札参加機会の拡大等事業者の利便性の向上及び行政事務の簡素化・効率化を図る。なお、平成26年9月まで並行稼働後、府省共通の「電子調達システム」(平成26年4月稼働開始)に完全移行となったため、本事業は廃止した。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	本システムは、政府調達(公共事業を除く)手続きの電子化「バーチャル・エージェンシーの検討結果を踏まえた今後の取組について」(平成11年12月28日高度情報通信社会推進本部決定)に基づき、全省庁が参加する政府調達(公共事業を除く)手続きの電子化推進省庁連絡会議において、電子政府構想(e-Japan)の一環として、全省庁の共通取組課題となっているもの。当省では、平成14年8月から導入し、同年10月25日から各省に先駆けて運用を開始。本システムは、国内外企業の負担軽減のためインターネット公告機能、電子入札機能、調達情報の公表機能及び仕様書等のダウンロード機能を有する。							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	51	48	24	0	0	
		補正予算	0	0	0			
		前年度から繰越し	0	0	0			
		翌年度へ繰越し	0	0	0			
		予備費等	0	0	0			
		計	51	48	24	0	0	
		執行額	49	46	20			
	執行率(%)	96%	96%	83%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 年度
	電子入札利用者申請者数	電子入札での参加を可能とするため、応札事業者が予めシステム上で行う利用申請(登録)数	成果実績	者	269	441	40	
			目標値	者	400	600	60	
			達成度	%	67%	74%	67%	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	電子入札実施件数	活動実績	件	255	492	88		
		当初見込み	件	-	-	-		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	執行額/①電子入札延べ件数+②仕様書等ダウンロード件数+③入札公告アクセス件数 ①88件、②3,116件、③350,886件	単位当たりコスト	円	69	66	56	-	
		計算式	/		49,000,000/713,671	46,000,000/714,637	20,000,000/354,090	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	計	0	0					

事業所管部局による点検・改善						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	国内外企業の負担軽減、入札参加機会の拡大等事業者の利便性の向上及び行政事務の簡素化・効率化を図る。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	同上		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	同上		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定は一般競争入札にて選定している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	クラウド利用のシステムに移行しサーバーメンテナンス費用を節約。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	機器借入及び運用経費に限定。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	直近3年間で目標の約71%を達成。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	クラウドの利用により、入札事業者及び当省職員の利便性が向上した。		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	<p>①本システムの推進は、事業者にとってのメリットもさることながら、国の実施する行政事務においても、仕様書・入札説明書の印刷が不要となり事務の効率化、簡素化が図られ、また印刷経費の削減が図られた。さらに、事業者に対する窓口配布も省略できるなど、多大な効果が得られた。</p> <p>②H23.4-7までは、旧システムで稼働し、H23.8-3からは新システムで稼働。新システムを導入するに当たり、従来からの予算措置額を上回らないようにすることに加え、旧システムの同等性能以上の操作性、利便性等を検討した結果、サーバ保有型からクラウド利用型に移行した。そのため、利用事業者や当省職員の業務上の利便性は向上したものの、旧システムで利用可能であった建設工事に係る入札は調達案件数が極めて少ないことから対象外とした(H23は4/1,754件、H24は4/1,727件)。また、システムを更改したことにより既存の電子入札利用申請者の情報が移行できない仕様となったことから前頁の成果目標の目標値をH22までを1,000としていたものを新システムに変更したため改めてH23を200とし、以降200ずつ上乘せとし、H26については、H25の目標値600/10=60としたものである。</p> <p>③電子入札利用者申請者数は、平成26年度においては前年度の1割程度となっているのは、平成26年度から運用開始した府省共通の「電子調達システム」に移行による影響であると分析する。直近3年間で目標の約71%を達成した。また、単価当たりコストについては、直近3年間で低廉化しており、コスト削減が計れたと分析する。</p>				
	改善の方向性	本システムは、府省共通の「電子調達システム」(平成26年4月稼働開始)に完全移行し、平成26年9月までの並行稼働実施後に本事業は廃止した。				
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
終了予定	平成26年度限り。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
予定通り終了	平成26年度で事業廃止。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	27	平成23年度	27	平成24年度	26	
平成25年度	28	平成26年度	28			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万
円)



費目・用途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額が
支出されている者
について記載す
る。費目と用途の
双方で実情が分
かるように記載)

A.			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
借料	システム機器の借料	13.5			
計		13.5	計		0
B.			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
運用委託	システム運用支援業務(ヘルプデスク等)	6.5			
計		6.5	計		0

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)リンクオフ	電子入札システムに係る機器借入(随意契約)	13.5	1	100%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)信興テクノミスト	電子入札システムに係る運用支援業務	6.5	1	99.6%

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載 チェック